



困難な状況だからこそ  
住民のために…

### 【今年の表紙】

千曲坂城消防本部では、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「隊員が感染しない、感染させない」を基本に、災害活動を行っています。

令和3年2月1日現在

	人口	世帯数
千曲市	58,737	22,266
坂城町	14,663	6,199
合計	73,400人	28,465世帯















**【仕事】**

私は、平成30年に消防士を拝命し、現在は戸倉上山田消防署の庶務係において職員の福利厚生や物品管理等、そして、救助隊員としても上司である諸先輩方の厳しくも温かい指導のもと地域のために業務を遂行しています。

**【感銘を受けた姿】**

それは中学2年の3月でした。東日本大震災が日本列島を襲いました。連日放送される震災情報。そこには被害映像とともに、過酷な現場で活動する自衛隊や消防、警察の姿が…。私はこの時、被災者に寄り添う各部隊の姿に感銘を受け、高校卒業後は国防を任務とする自衛隊に入隊(陸上自衛隊航空科)しました。

**【志は自衛隊から消防へ】**

近年、毎年のように全国で発生する自然災害。そこには必ず消防の姿が…。そんな姿をテレビで見ていた私はふと考えました。「自分が育った街はいったい誰が守るのだろう

一昨年の令和元年東日本台風。管内も大きな被害を受け今年こそは明るい年へと迎えた令和2年度。新型コロナウイルス感染症が世界で拡大し、私たちの生活様式を大きく変えました。一方、期待されている新型コロナウイルスのワクチンが海外で開発され、その一部は緊急承認により接種が始まります。来年度はいよいよ「東京オリンピック2020」の開催が予定されています。開催時に新型コロナウイルスが収束しているのか、否かまだまだ不透明な状況ですが、明るい未来の一つとして期待したいものです。モノには必ず終わりがあります。このコロナ禍にも必ず収束が訪れます。もう少しの我慢。コロナの収束に期待しながら「思いやり」の心で、毎日を過ごしていきましょ。明るい未来の子供たちのため「思いやり」の気持ちを大切に…。